

部会の議論のまとめに向けて(案)

これまでの各部会での議論を踏まえ、部会の役割である「分野別の目標」と「それに対応した政策の基本的方向等」について、以下のようにまとめてはどうか(別紙参照)。

1 分野別の目標と基本的視点

【分野別目標】

10年後の杉並を見据えて、各分野の「10年後の目標(あるべき姿)」を掲げる。

【基本的視点】

各分野の目標達成に向けて、どのような視点で取り組んでいくか等を掲げる。

2 政策の基本的な方向

各分野の目標達成に向けて、今後取り組むべき政策の基本的な方向を示す。

3 戦略的・重点的な取組の方向性

部会での議論を通じて出された取組の中で、10年間を通して戦略的・重点的に取り組むべき項目の方向性について示す。

4 その他

部会の議論で出された項目について、今後、調整部会での検討や審議会全体会で整理が必要と思われる項目があれば付記する。

新基本構想の構成(イメージ)

1 基本構想策定の背景

- (1) これまでの経緯
住宅都市として発展してきた杉並区
- (2) 時代の変化と杉並区の抱える課題
(例) 少子高齢化の進展への対応
変化する東京に対応したまちづくり
安全・安心な地域づくり
持続的なサービス提供が可能な行財政運営

2 新しい基本構想の理念～10年後の杉並区のあるべき姿～

- (例) (1) 住宅都市「杉並」の価値を高める
- (2) 誰もが健やかに、豊かに暮らす
- (3) 共に支え合う地域社会を作る

調整部会のまとめ
(報告)を反映

3 目指すべき将来像とあるべき姿

- (1) 総合目標～10年後の杉並区のあるべき姿～

.....

- (2) 各分野の目標と施策の方向

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

第1～第3部会の
まとめ(報告)を反映

4 戦略的・重点的な取組

.....

5 基本構想を実現するために

.....
協働の地域社会に向けて
これからの財政運営

調整部会のまとめ
(報告)を反映

新基本構想・総合計画のイメージ

【新基本構想】 - 10年後を展望した杉並区のグランドデザイン -

区民と共有する夢として、10年後(33年度)を目標に設定

主な 内容	<p>区の目指す将来像</p> <p>分野別の目標(10年後のあるべき姿)</p> <p>目標実現のための政策の基本的方向</p> <p>戦略的・重点的な取組(各分野の目標実現に向けて政策を先導していくプロジェクト)</p>
----------	--

基本構想実現の道筋

【総合計画】 - 基本構想実現の具体的道筋となる「10年プログラム」 -

協働や行財政改革の取組を一体化した、総合的な計画として策定
10年間(24～33年度)の総合的な計画に、財政の裏付けを持つ3年間の「実行プラン」を包含

計画は2年ごとにローリング(計画期間の中間時点で、計画全体について必要な見直しを実施)

主な 内容	<p>基本構想が示す政策の基本的方向に基づく、施策ごとの取り組むべき課題と方向性・目標</p> <p>施策体系と施策・事業の内容。特に戦略的・重点的に取り組むべきものは「重点推進プラン」に</p> <p>事業については、財政の裏付けを持つ3年間の「実行プラン」に(事業量・事業費を明示)</p> <p>区民等との協働や行財政改革の取組を含めた「区政経営改革」の目標・方針と取組内容</p> <p>施設配置や整備等のあり方</p>
----------	--